読書の家から

今月の1冊



バッタを倒しにアフリカへ 夢をかなえたハカセの物語

前野ウルド浩太郎

作者がどうやって問題を乗り越え、やりたいことを仕事にできたのか。大人になって仕事をするとはどういうことなのか。好きなことを仕事にするためにはどんな努力が必要なのか。自分のやりたい仕事を見つけて夢をかなえるヒントになるかもしれません。大人になり、仕事をしている自分の姿を想像しながら、読んでみてください。

（あぶた読書の家所蔵）

あぶた読書の家　（☎ 76-2100）
［時間］10時～16時30分　［休館日］木曜日、祝日

みずうみ読書の家（☎76-2100〈あぶた読書の家〉）
［時間］9時～17時　［休館日］木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室　（☎ 82-5111）
［時間］9時～16時30分　［休館日］なし

新刊案内

■あぶた読書の家

＜一　般＞

▽永遠の記憶（東野圭吾）▽王国（湊かなえ）▽おにがわらう（畠中恵）▽能面検事の挫折（中山七里）▽風車と巨人（岩井圭也）▽ジウ　Ｔｈｅ　Ｎｅｘｔ（誉田哲也）▽楽園（夕木春央）▽傾斜のマリア（恩田陸）▽はじまりのスープ、夏ゼリー（瀬尾まいこ）▽鋼鉄のレガシー（堂場瞬一）

＜児童書＞

▽どうぶつさがしえずかん（きのしたちひろ）▽ノラネコぐんだん　もっとおあそびブック（工藤ノリコ）▽ライオンのおばけキャンプ（さかとくみ雪）▽キャベたまたんてい　きょうりゅうゆうかいじけん（三田村信行）▽妖怪サトリと天狗笑い（長谷川まりる）▽消えたチャイム（西村友里）▽びっくり発見！こども農園　草や生きものといっしょの畑（農文協）

■洞爺総合センター図書室

＜一　般＞

▽アラームが鳴らないうちに（川口俊和）▽春までのセンセイ（早見和真）▽未だ本能寺にあり（今村翔吾）▽悩みの本　あなたが本気で生きている証（高橋佳子）▽あなたのいない世界で（原田ひ香）

＜児童書＞

▽パンどろぼうとさすらいラーメン（柴田ケイ子）▽とり　とりどり（北村ハルコ）▽英語でもよめるできるかな？あたまからつまさきまで（エリック・カール）▽とうさん、ＡＩになる！（林家彦いち）▽つかめ！理科ダマン２　みんなが恐竜に夢中編！（シン・テフン）

絵本の玉手箱　11月のおはなし会
■日　時　①11月20日(金)14時～15時30分
　②11月24日(火)10時～11時30分
■場　所　①あぶた読書の家②あぶた母と子の館

キッズタイム
■日　時　11月21日(土)10時～11時30分
■場　所　あぶた母と子の館
■対　象　乳幼児および保護者
■問合せ　佐藤（☎ 76-2487）

ピノキオの会読み聞かせ
■日　時　11月19日(木)14時20分～14時50分
■場　所　虻田小学校図書室
■問合せ　松本（☎ 76-2613）

地域おこし協力隊通信 vol.102

今月のリポーター
亀田昇吾さん



地域おこし協力隊として洞爺湖町に着任してから2年半余り。任期も残すところ5カ月となりました。

9月には、空家などに関する地域ごとの現状を把握するため、町内各自治会の皆さんにご協力をいただき心より感謝いたします。

空家の問題は、建物の管理だけでは解決できません。家族の事情や相続、地域の担い手、住まいを探す人とのつながりなど、暮らしのさまざまな課題と関わってきます。

同じ町内でも地域ごとに事情が異なり、一つの方法で全てに対応できるわけではありません。だからこそ、地域の声を丁寧に聞き、実情に合った選択肢を考えることが大切だと感じています。

これまでは、観光や開発によって生まれる豊かさを、地域の暮らしや文化に還元する仕組みについて考えてきました。空家対策も、その一つの入口です。所有者の思いを尊重しながら、「住み継ぐ」「貸す」「活用する」などの選択肢を増やすことが、地域に人や仕事をつなぐきっかけになるかもしれません。

残りの任期では、今回伺った声とこれまでの調査成果を一つひとつ丁寧に整理し、まちの皆さんとともに考えたことが、地域や行政が今後の取り組みに生かせるように努めていきたいと思います。